

給与支払報告書（個人別明細書）の記入例及び留意事項

詳細は、国税庁で作成している「令和7年分年末調整のしかた」及び「令和7年分給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引き」を必ずご覧ください。

給与支払報告書（個人別明細書）

（市区町村提出用）

※	記入例										※種別	※整理番号										※																	
① 住所 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘1234番地 グリーンヒルズ203号										(受給者番号) ② 0001																													
										(個人番号) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1																													
										(役職名)																													
										(フリガナ) ヤマハ 太郎																													
氏名 山辺 太郎																																							
種別		支払金額				給与所得控除後の金額 (調整控除後)				所得控除の額の合計額				源泉徴収税額																									
給料・賞与		内 5,920,000 円				③ 4,296,000 円				3,953,678 円				内 0 円																									
(源泉)控除対象 配偶者の有無等 ④		配偶者(特別) 控除の額				⑤ 控除対象扶養親族等の数 (配偶者を除く。)				16歳未満 扶養親族の 数				⑦ 障害者の数 (本人を除く。)				非居住者 である 親族の数																					
有 従有		老人				特 定				老人				その他				特 親				⑧ 人																	
○		380,000 円				1 人				1 人				1 人				1 人				1 人																	
特定親族特別控除の額				社会保険料等の金額				生命保険料の控除額				地震保険料の控除額				住宅借入金等特別控除の額																							
⑨ 610,000 円				⑩ (120,000) 345,678 円				70,000 円				8,000 円				⑪ 17,100 円																							
(摘要) ⑫																																							
(1)山辺 七郎(年少) 山辺花子(退職)妻 平成8年8月8日 550,000円 前職分：(有)やまのべまち 山辺町緑ヶ丘5 R7.3.31退職 支払額2,345,678円、社保控除123,456円 源泉税額2,000円																																							
生命保険料の 金額の内訳				新生命 保険料 の金額				100,000 円				旧生命 保険料 の金額				介護医療 保険料 の金額				10,000 円				新個人年金 保険料 の金額				20,000 円				旧個人年金 保険料 の金額				円			
⑬ 住宅借入金等 特別控除の額 の内訳				住宅借入金 等特別控除 適用数				1 年 月 日				住宅借入金 等特別控除 区分 (1回目)				住(特)				住宅借入金 等年末残高 (1回目)				24,180,000 円															
				住宅借入金 等特別控除 可能額				241,800 円				居住開始年 月日(2回目)								住宅借入金 等年末残高 (2回目)								円											
(源泉・特別) 控除対象 配偶者				(フリガナ) ヤマハ ハナ				区分				配偶者の 合計所得				⑭ 円				国民年金保険 料等の金額				円				旧長期損害 保険料の金額				円							
				氏 名 山辺 花子												⑮ 円				基礎控除の 額				680,000 円				所得金額 調整控除額				⑯ 円							
				個人番号 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2																																			
⑰ 控除対象扶養親族等				(フリガナ) ヤマハ 一郎				区分				⑰ 16歳未満の扶養親族				(フリガナ) ヤマハ 三郎				区分				⑱ 5人目以降の控除対象 扶養親族の個人番号															
				氏 名 山辺 一郎				20								氏 名 山辺 三郎				21																			
				個人番号 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3												個人番号 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6																							
				(フリガナ) ヤマハ 二郎				区分								(フリガナ) ヤマハ 四郎				区分																			
				氏 名 山辺 二郎				02								氏 名 山辺 四郎																							
				個人番号 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4												個人番号 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7																							
				(フリガナ) ヤマハ はな				区分								(フリガナ) ヤマハ 五郎				区分																			
				氏 名 山辺 はな												氏 名 山辺 五郎																							
				個人番号 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5												個人番号 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8				(1) 000000000000																			
				(フリガナ)				区分								(フリガナ) ヤマハ 六郎				区分																			
				氏 名												氏 名 山辺 六郎																							
				個人番号												個人番号 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9																							
未成年者		外国人		死亡退職		災害者		乙欄		本人が障害者 特 別		寡 婦		ひとり親		勤労学生		中途就・退職				受給者生年月日																	
																		就職 退職 年 月 日				元号 年 月 日																	
																		○ 7 4 1				平成 7 7 7																	
個人番号又は法人番号 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 (右語で記載してください。)																																							
支払者 住所(居所)又は所在地 山形県東村山郡山辺町大字山辺1番地																																							
氏名又は名称 株式会社 山辺町										(電話) 023-667-0000																													

①住所	令和8年1月1日現在、住民登録している住所を記載する。
②受給者番号	eLTAXで特別徴収税額通知書(納税義務者用)の電子通知の受取を希望する場合は必ず記載する。
③給与所得控除後の金額 (調整控除後)	「令和7年分年末調整のしかた」の「給与所得控除後の給与等の金額の表」によって求めた金額を記載する(所得金額調整控除の適用がある場合は、控除後の金額)。
④(源泉)控除対象配偶者の有無等及び配偶者(特別)控除の額	控除対象配偶者の適用を受けている場合は○と控除額を記載する。配偶者特別控除の適用を受けている場合には○を記載せず控除額のみ記載する。
⑤控除対象扶養親族等の数 (配偶者を除く。)	配偶者および16歳未満以外の扶養親族の人数を数字で記載する。老人扶養のうち、同居老親等の場合は内書欄にも記載する。(老親等: 本人又は配偶者の直系尊属) 特定: 19歳～22歳(平成15年1月2日～平成19年1月1日生まれ) 老人: 70歳以上(昭和31年1月1日以前生まれ) その他: 上記以外の控除対象扶養親族 特親: 19歳～22歳(平成15年1月2日～平成19年1月1日生まれ)で、合計所得が58万円超123万円以下の方(令和8年度(令和7年分)から新設された特定親族特別控除対象者)
⑥16歳未満扶養親族の数	扶養控除は適用されないが、住民税課税判定他各種行政サービスで使用されるので記載漏れに注意。 非居住者の場合は区分欄⑳に○を記載する。 年少扶養: 16歳未満(平成22年1月2日以降生まれ)
⑦障害者の数(本人を除く。)	特別障害者の場合は「特別」の右枠に記載し、同居の場合は左枠にも記載。 普通障害者の場合は、同居・非同居の別なく「他」欄に記載する。
⑧非居住者である親族の数	配偶者(特別)控除の対象となる配偶者・扶養控除の対象となる扶養親族のうち、日本国内に居住していない人数を記載する。
⑨特定親族特別控除の額	控除した特定親族特別控除の金額を記載(令和8年度(令和7年分)から新設)
⑩社会保険料等の金額	社会保険料の金額および小規模企業共済等掛金の額の合計額を記載し、小規模企業共済等掛金の額を内書きする。
⑪住宅借入金等特別控除の額	算出した所得税額から差し引いた特別控除の額を必ず記載する。
⑫摘要	◆前職分の支払額を含めて年末調整した場合は、前職事業所名・所在地・退職年月日・支払額・社会保険料控除額・源泉徴収税額を記載する。 ※記載が無い場合は他社分給与等は含んでいないとみなします。 ◆普通徴収とする場合は、「普通徴収」「理由区分(A・B・C・D)」を記載する。 ◆訂正分を提出する場合は、朱書きで「訂正分」と記載する。 ◆扶養親族が5人以上いる場合、氏名を記載し、『5人目以降の扶養親族の個人番号』と対応関係が分かるよう、括弧書きで番号をつける。 ◆退職手当等の支払いを受ける配偶者又は扶養親族がいる場合は、氏名の後ろに『(退職)』と、続柄、生年月日、令和7年分の退職所得を除いた合計所得金額を記載する。
⑬住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除がある場合は全てを記載する。 <u>記入漏れがある場合、正しい控除が適用されない可能性があります。</u>
⑭配偶者の合計所得	控除対象配偶者または配偶者特別控除の対象となる配偶者の合計所得(※収入金額ではない)を記載する。
⑮基礎控除の額	「給与所得者の基礎控除申告書」から転記する。 ※令和7年分から基礎控除が改正され、細分化されたのでご注意ください。
⑯所得金額調整控除額	所得金額調整控除の適用がある場合は記載する。必要に応じて「摘要」欄にも記載する。
⑰(源泉・特別)控除対象配偶者 控除対象扶養親族 16歳未満の扶養親族	<u>氏名・フリガナ・マイナンバーを必ず記載する。</u> いずれかの記載が無い場合は個人の特定ができないため控除が適用できない場合があります。 <u>非居住者あるいは特定親族特別控除対象者の場合は区分欄⑳に該当数字を記載する。</u> ※特定親族特別控除の区分は、裏面の、令和8年度(令和7年分)からの個人別明細書の記載に関わる変更点に記載しています。
⑱寡婦 ※ひとり親との併用不可	「⑲ひとり親」に当たらない方で、次の①～③のいずれにも当てはまる方 ①合計所得金額が500万円以下であること ②以下のいずれかに該当すること ◆夫と死別したあと婚姻していない方又は夫が生死不明などの方 ◆夫と離別したあと婚姻していない方で、子以外の扶養親族を有する方 ③事実上婚姻関係と同様の事情にあると認められる者がいないこと
⑲ひとり親 ※寡婦との併用不可	現に婚姻していない方又は配偶者が生死不明などの方で、次の①～③のいずれにも当てはまる方 ①合計所得金額が500万円以下であること ②総所得金額等が58万円以下の生計を一にする子(※他の者の同一生計配偶者や扶養親族は除く)がいること ③事実上婚姻関係と同様の事情にあると認められる者がいないこと